

六人の花を  
集める



!R18

my hero academia  
FANBOOK Katsuki  
DEKU

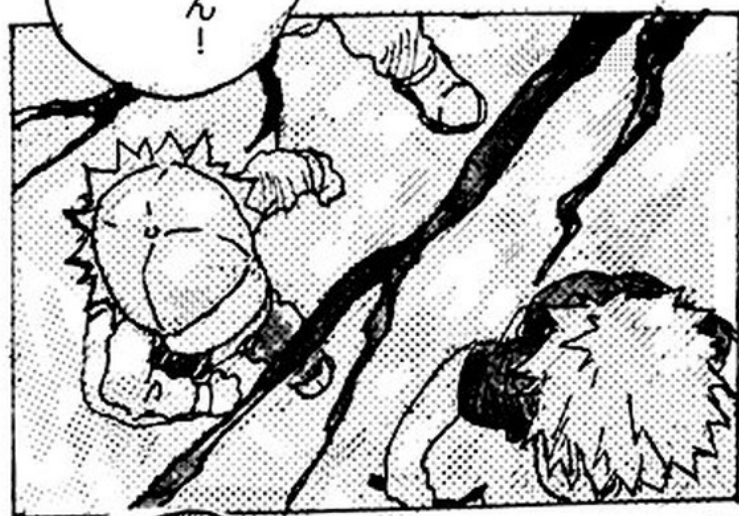
\*読む順番は左→右です

かつちゃん！  
止めてよ

当たるなんて  
一発で

かつちゃん！  
さすが

みたいだ  
築立したばかり  
小さいなあ  
この子、

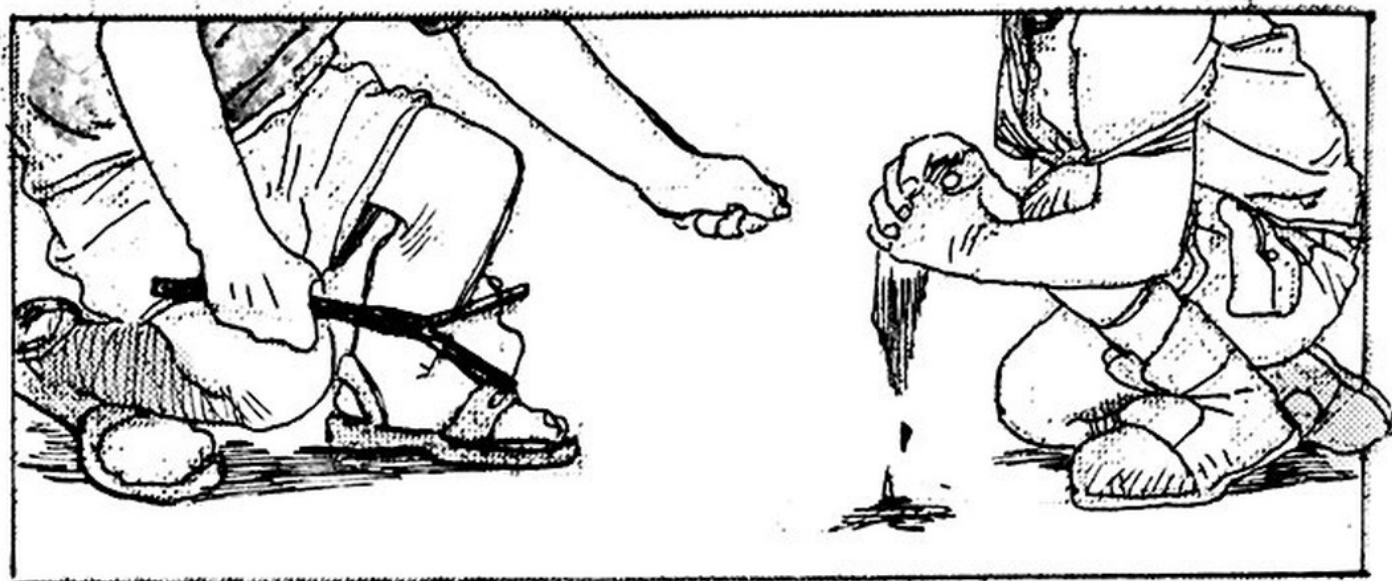


巣にいな  
おとなしく  
小つちやいのに  
こんなに

じゃねえよ  
飛び出すん

だろ  
決まってるん  
落ちるに







は

は

はは  
…

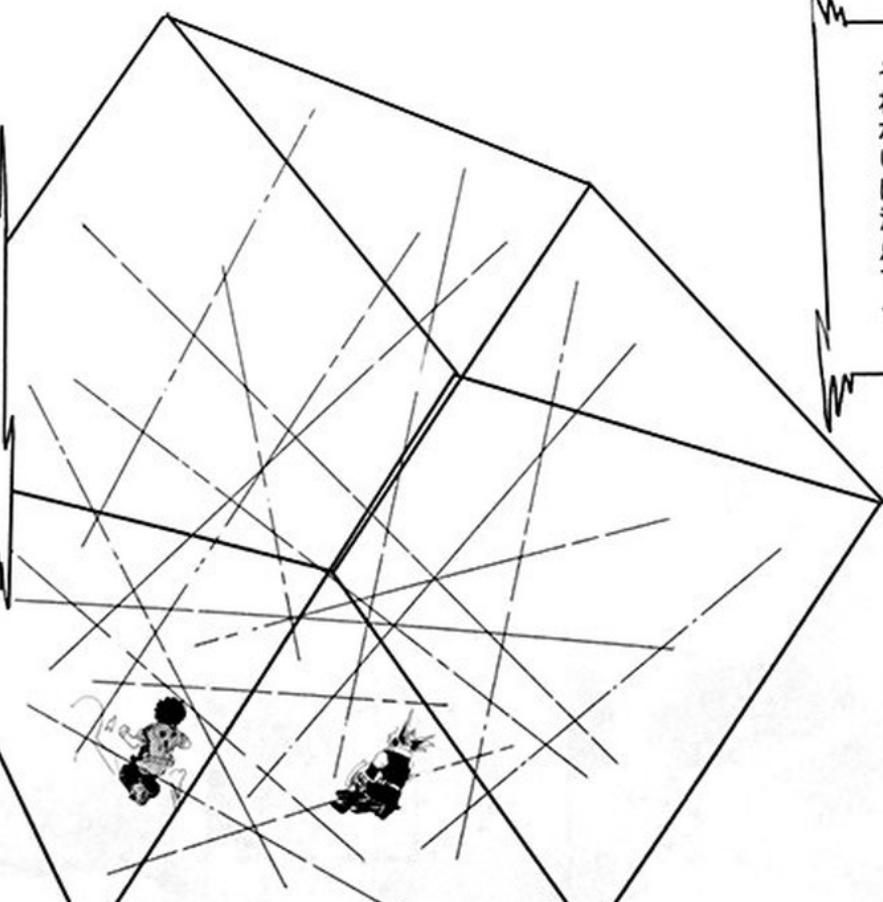
散々仕掛けられてる  
周りに発信機と受信機が  
言わなくても気付いただろ  
これからは敏捷性のテストだ



受信機はランダムに行われる  
発信機が受信する、  
発射されたビームを  
発信機から

ビームを切断した場合は  
ビームに当って、  
もしお前らの体が

これがルールだ—  
それなりに減点する、







中は安全だ  
訓練室にじっとしてろ





言ったじゃねえか  
ねえっておめエが  
全然うまくなくて



勝負できるー  
かつちゃんと  
何も気にせず  
いいチャンスかも、  
これは確かに







てめェ?!  
言つてんのか  
寝言でも



じゃねえか!  
決まってるん  
この俺に  
最後に勝つのは

眩しいな  
爆破…

かもしれないだろう  
人が来る  
その大騒ぎで  
もし個性を使ったら、

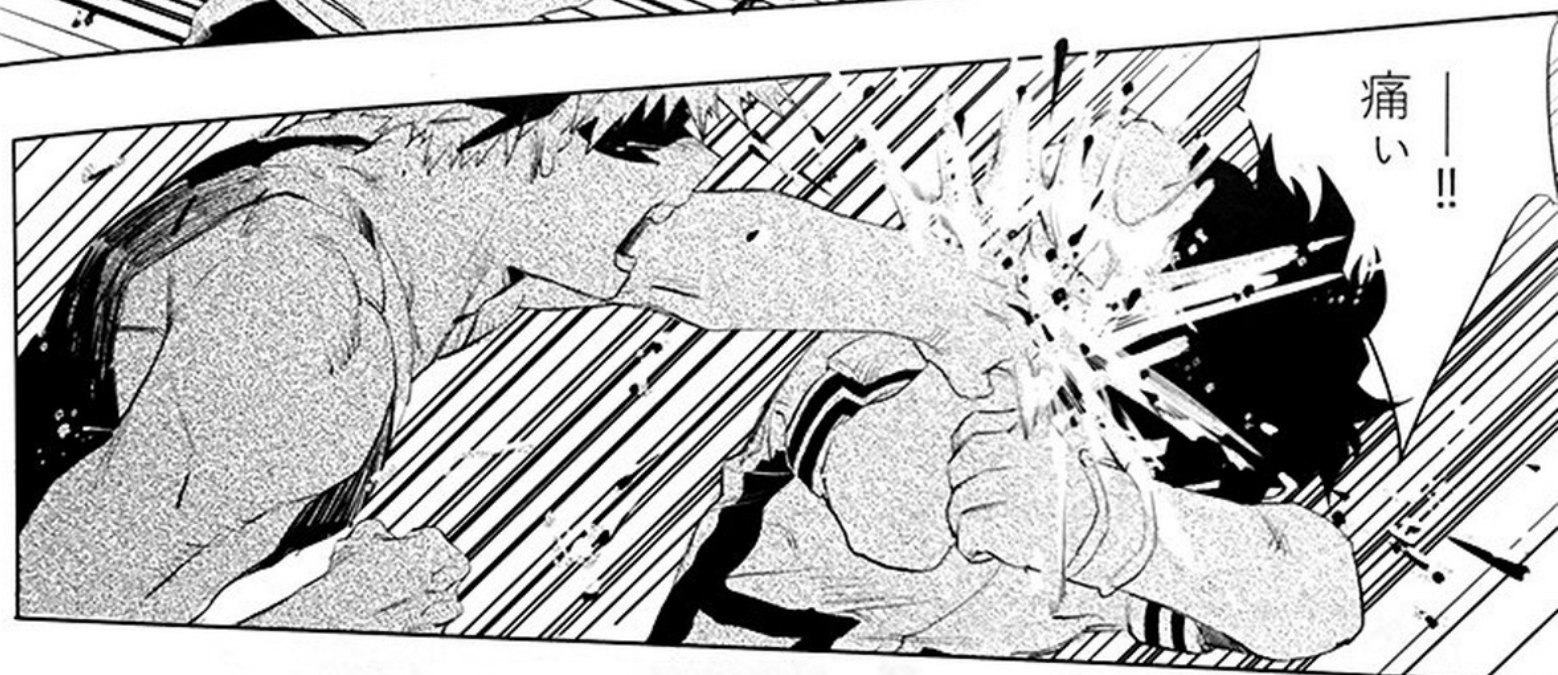
この状況で  
デクよく聞け、  
おら

面倒くせェ!  
チツ

使わねえ  
俺は個性を



白兵戦だ





なったなあ…  
もう随分遅く

ううっ

見えない  
道が  
暗過ぎで

歩いたの…  
どれくらい

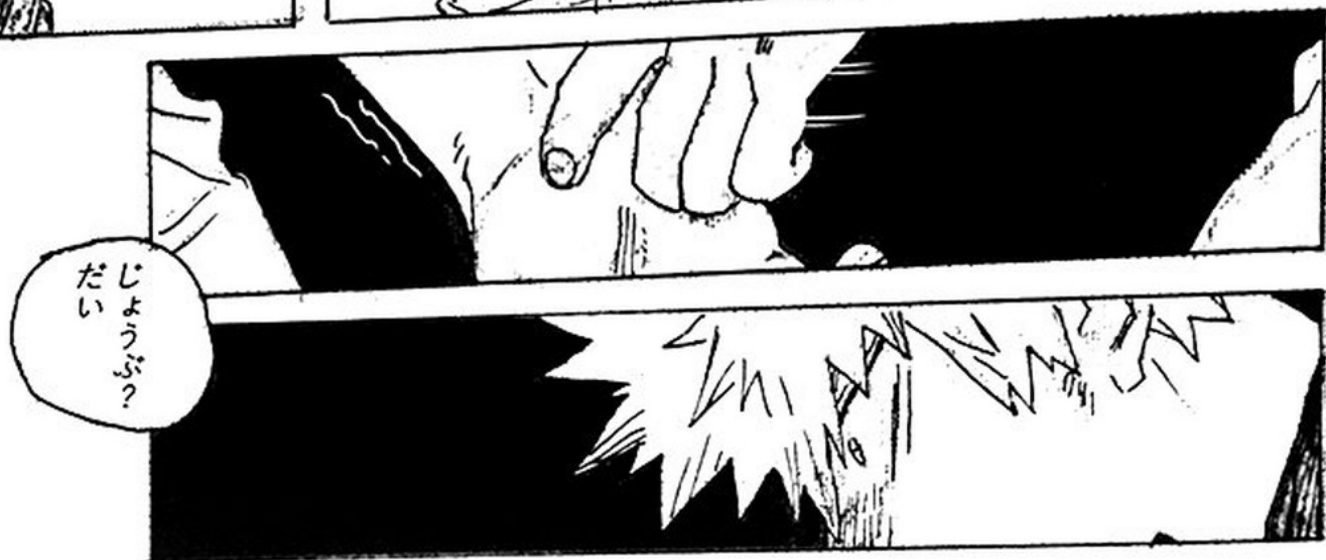
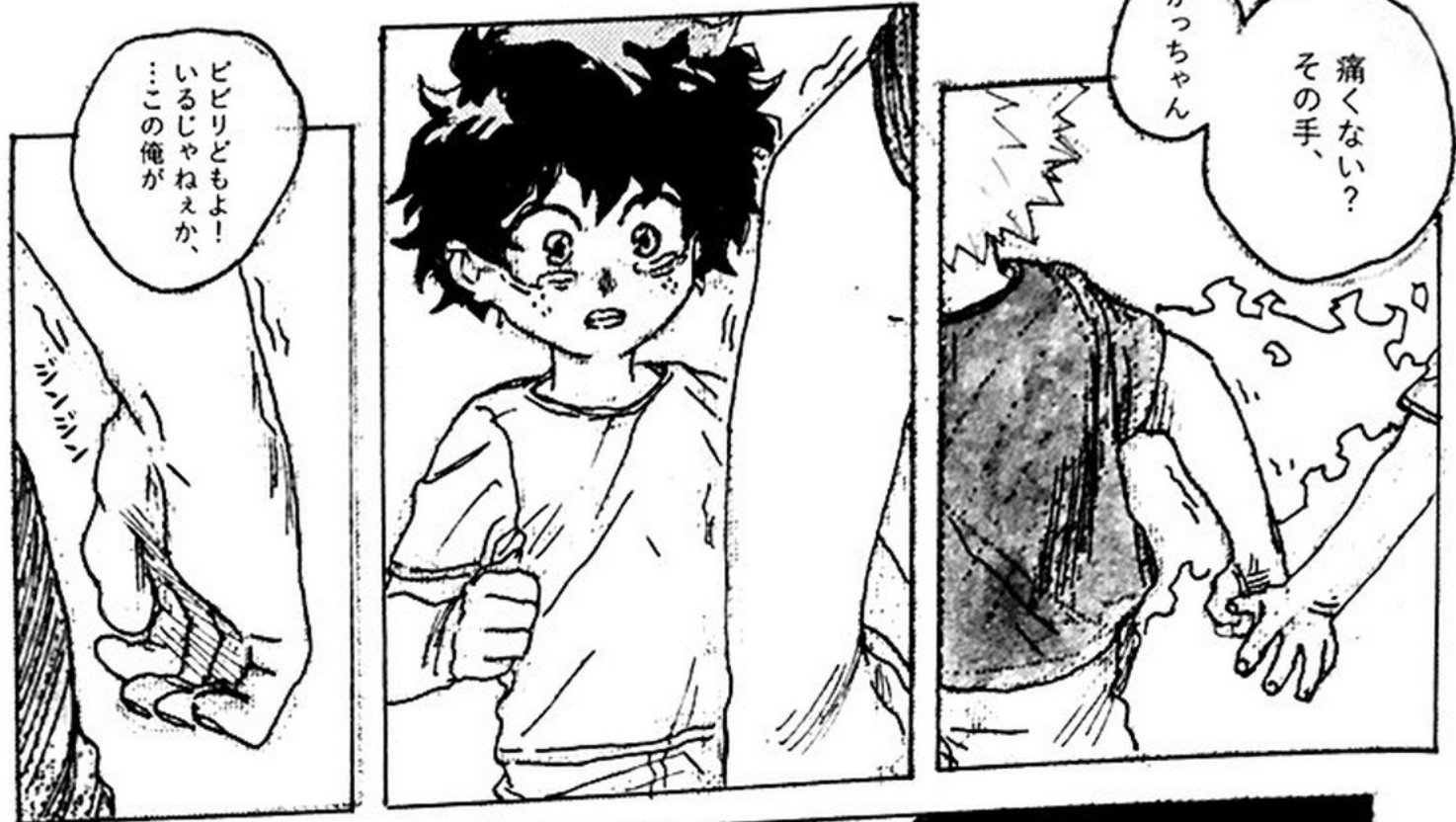
こわいよ

んだよ！  
うるせえ

おめエらは  
奴だなあ、  
本当に使えねえ  
っるせえ、

やるから  
道を照らして  
俺が個性で

ついてこい  
大人しく









てめエ!

チッ



全然ダメだわ!  
おめエが言った通り  
本当に



頼りすぎてるんだろう!  
他人から得たものに  
マジでこんなに弱いのか…  
肩と腕の力



見掛け倒しは  
何だこの

言いやがって…  
偉そうに  
いつも

見せてくれよ!  
本気  
そんなら



言ってたよなあ  
超えるとか  
前に俺を

まだはやー  
クソデクには  
踏みたくないんで、  
この俺の上に

……！  
かっちゃん

一度もないよ  
考えたこと  
そんなの  
かっちゃん……僕は

超えたいだけだ！  
負けない君を  
どんな時でも  
僕はただ……

……  
僕は

かしら？  
何かあったの  
随分と遅かったね、

り、り、り...

は

迷ったの  
道を

だろー  
わけねえ  
何かある  
この俺に

言ってて  
ちやんとさよなら  
出久くんに  
緑谷さんと

クソガキ  
帰るよ







——！  
見つかった

動くな！

え？

かっちゃん？  
何が付いてるの、  
僕の背中に

探してたのに  
僕らはずっと  
出久は、  
ラッキーだな

でけえな…  
けっこう  
こいつ



持ってけー  
もんだから  
おめエの

あ



かっちゃん

こいよ！  
ついて  
俺に  
しっかり  
行こう、



みせるからな！  
見つけて  
すげえもん  
もっとデカくて

早く返してよ！  
僕のベルドだ—  
それは



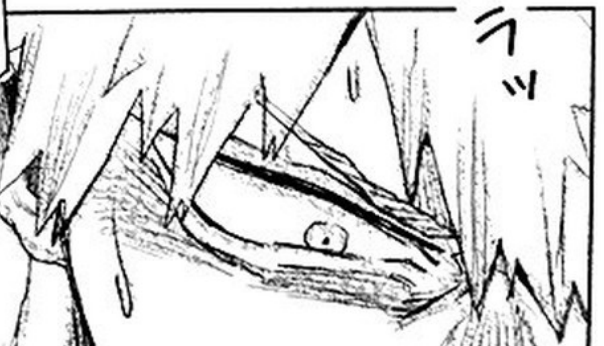
かっちゃん?!  
するつもりだ  
一体何を



聞こえないの?!  
僕の話  
ねえ、



イン  
ッ



やめて!  
かっちゃん

痛い!

ガ  
サ  
マ  
ー

















はあ

はあ...

ハア

はあ







敵わないよ…  
かつちゃんには  
でも僕らはきっと



チッ



そうだな

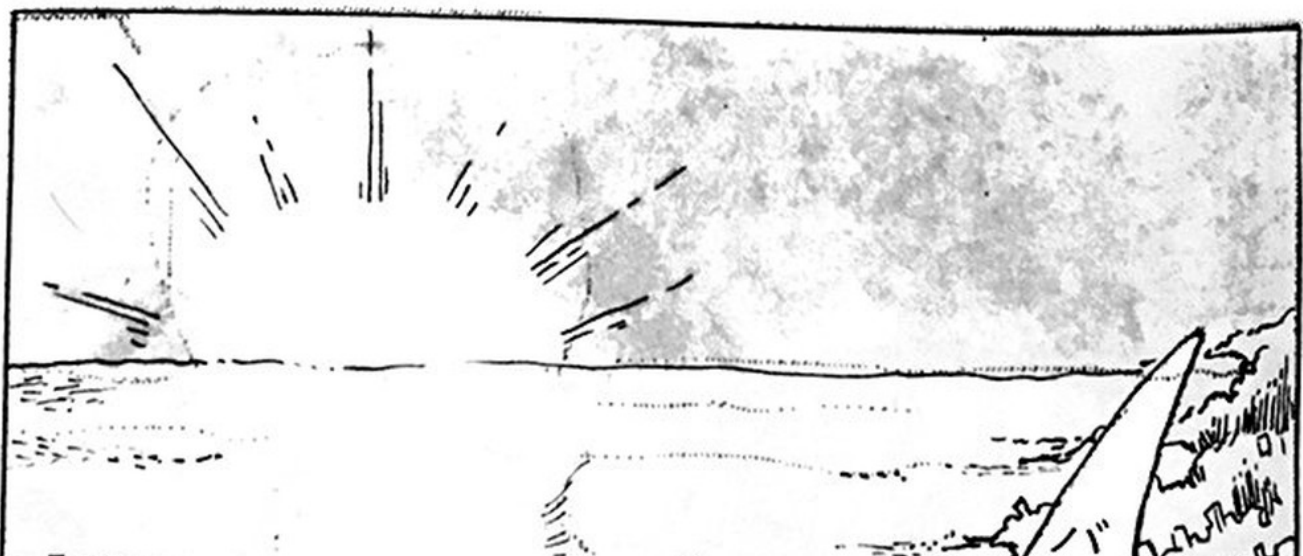


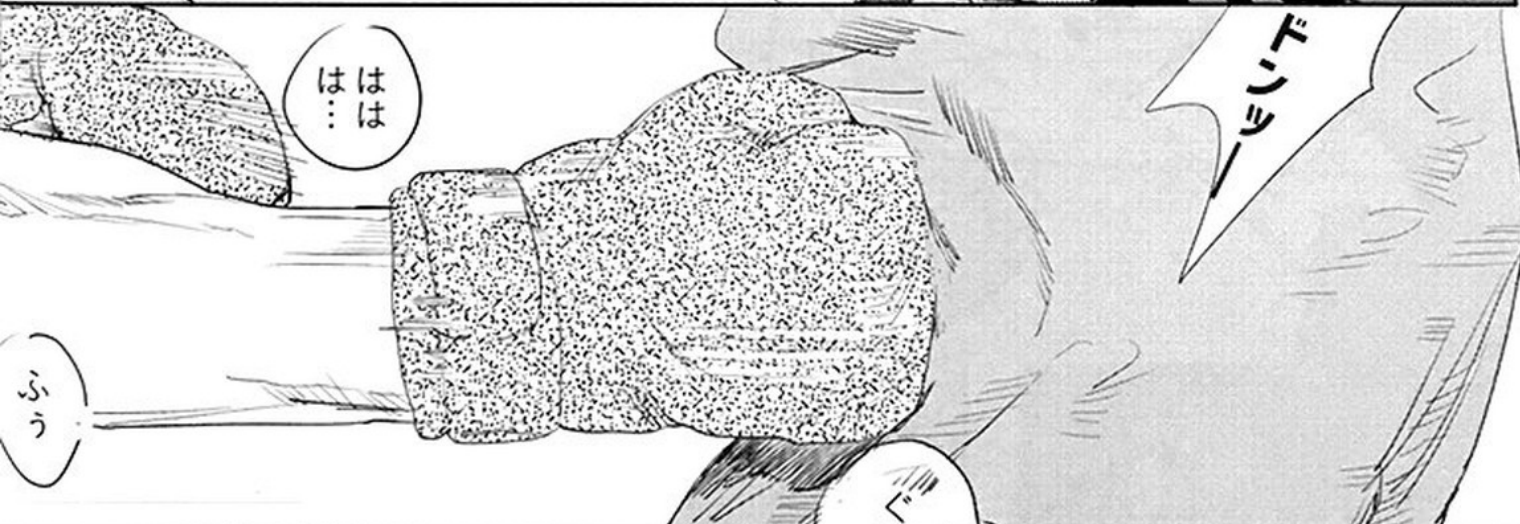
だからなあ！  
この俺  
投げるのは  
一番上手く



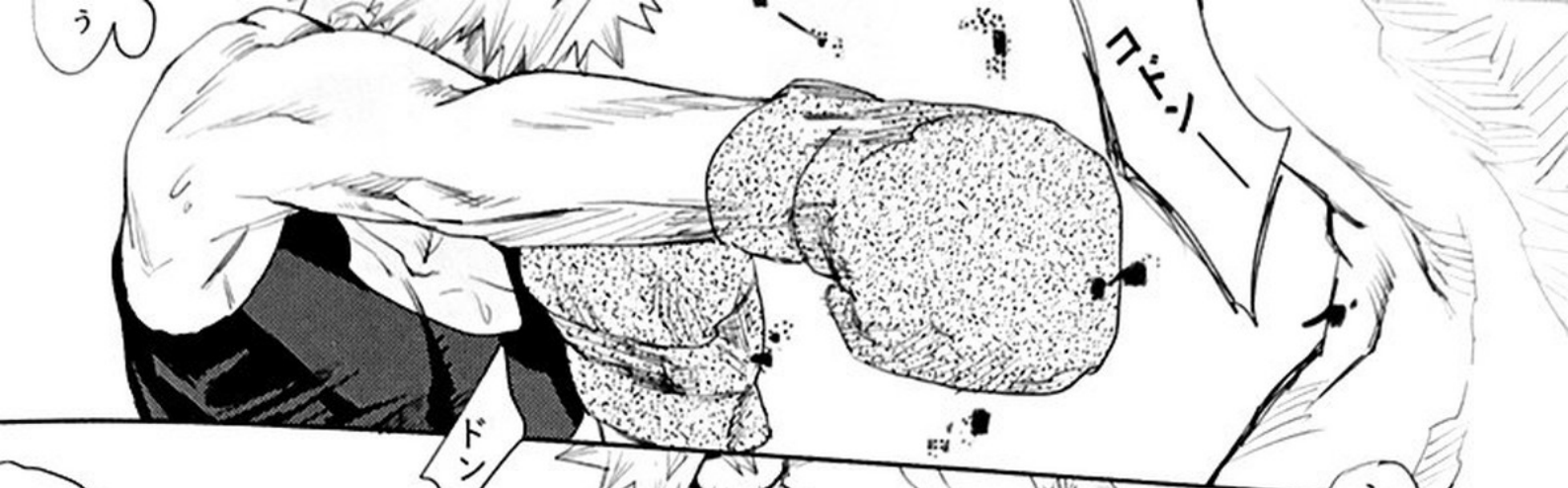
のよ…  
何見てん

バカツラして  
あんな













くまっ



何  
スツ



クン  
バカ

7

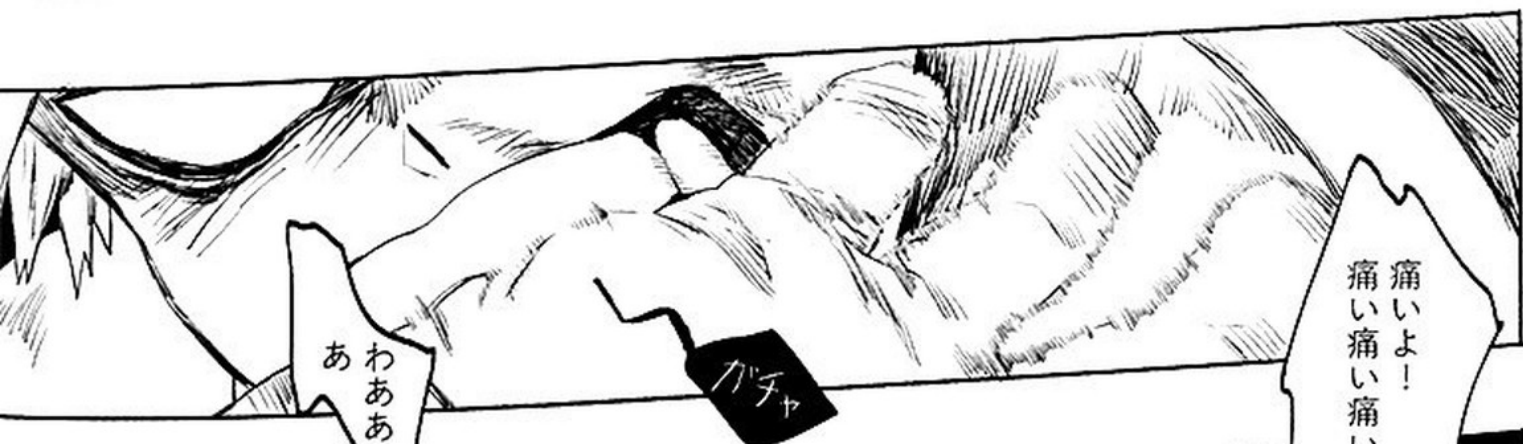


クン  
バカ

ぶつ殺す  
てめエ  
か  
か僕は、  
かっちゃん



あ  
僕、その  
待って！  
ちよつ

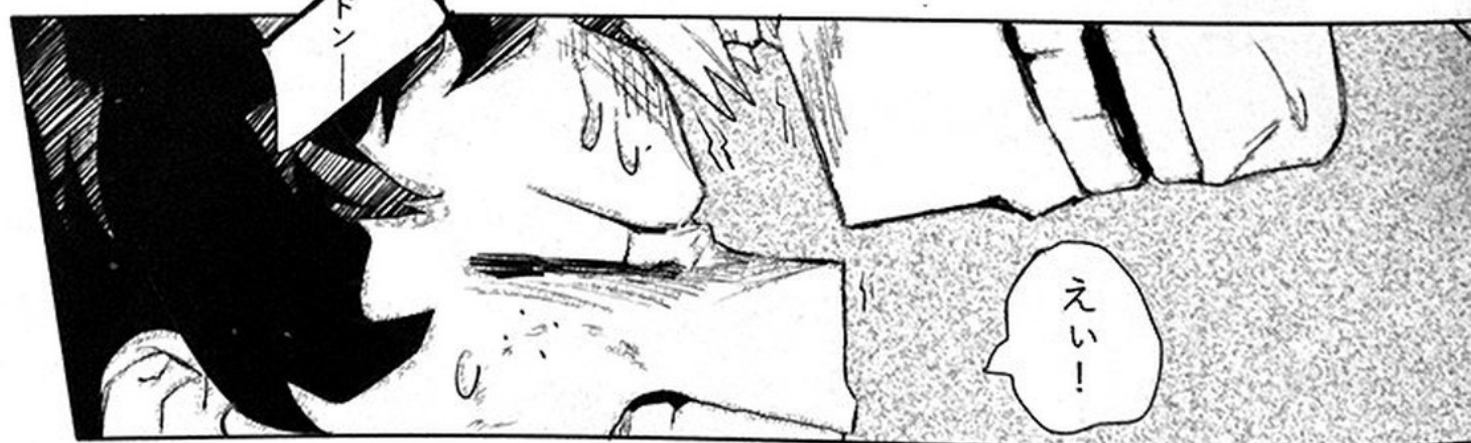
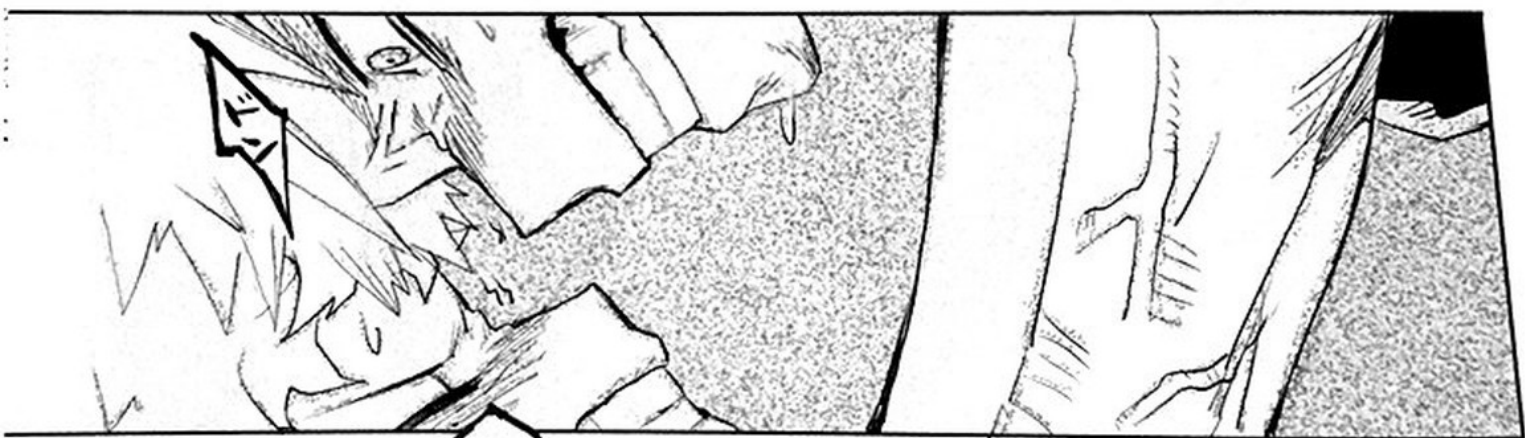


わあああ

ガチャ

痛いよ！  
痛い痛い痛い







偉そうなツラして  
いつも

言いやがって  
見てえって  
俺の勝ちが



見てろよオ—  
そこできちん  
んじゃ



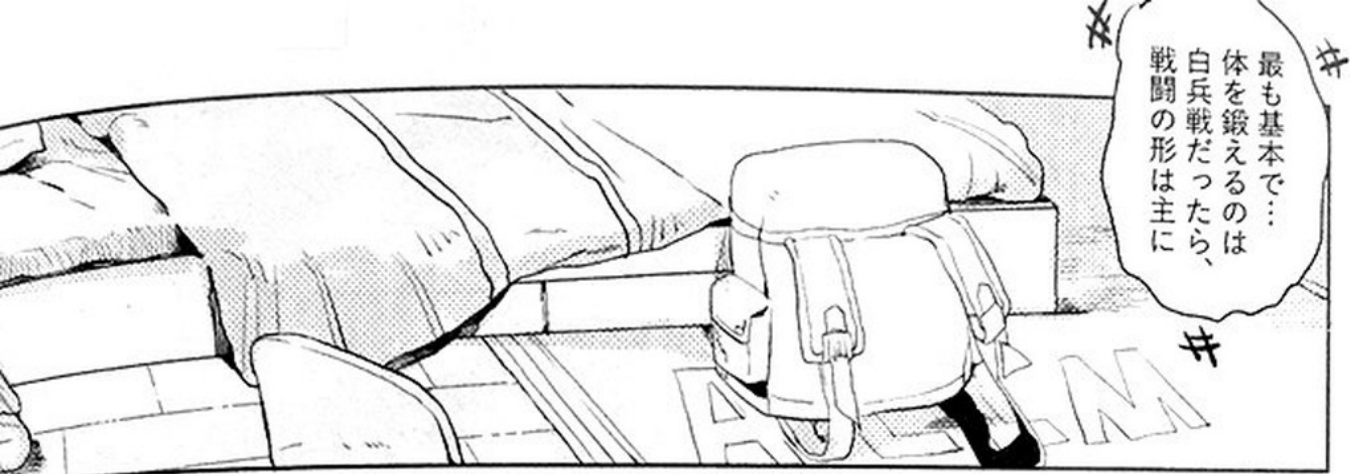
付き合っ  
てやるから  
な  
最後まで





られないぐらいになあ  
てめえが目も開け





最も基本で：  
体を鍛えるのは  
白兵戦だったら、  
戦闘の形は主に



頼り過ぎると：  
あんまり個性に  
すぎく重要だが、  
個性を合わせて発揮するの  
もちろん自らの力と

可能性は低くなる：  
反抗の意識がすぐ失う  
押し倒されたとしても  
少なくとも人に  
変わったから、  
という伝統的な攻撃方法に  
今は上半身で攻撃する

なんてなかった  
僕は：反抗する気  
正直あの時

な

ルール違反だぞ  
その殴り合いは  
お前ら…

やっぱリ  
くれないか  
仲良くして  
二十分だけでも

アッ

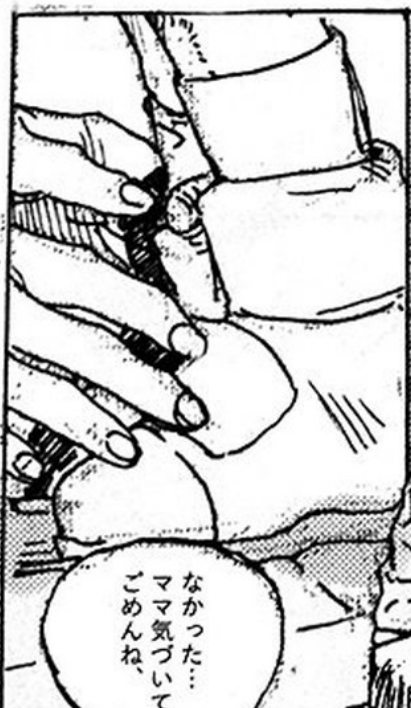
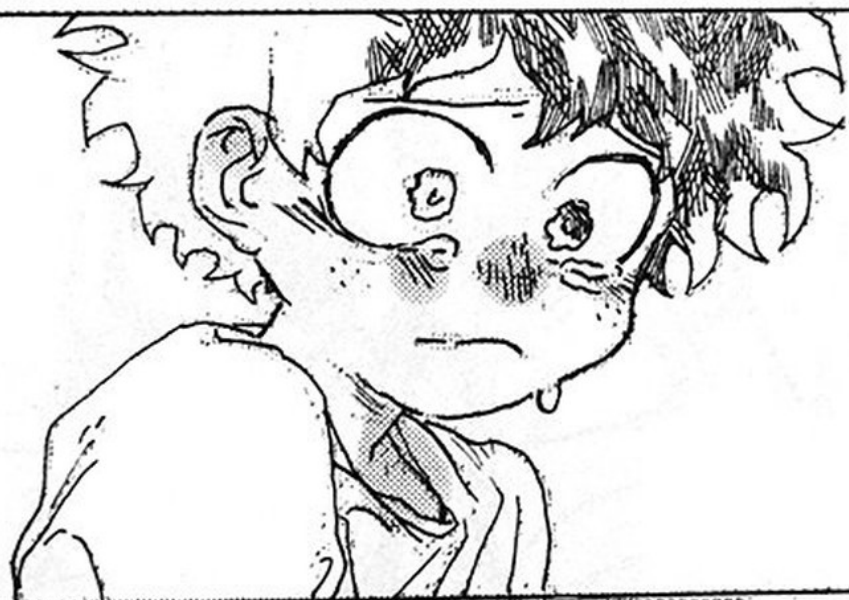
かもしれん  
総合成績にも響く  
成績をゼロにする  
今回のテスト

チャンスはない  
二度目の  
あと、お前らには

いたら…  
個性使って  
もし今回  
それに

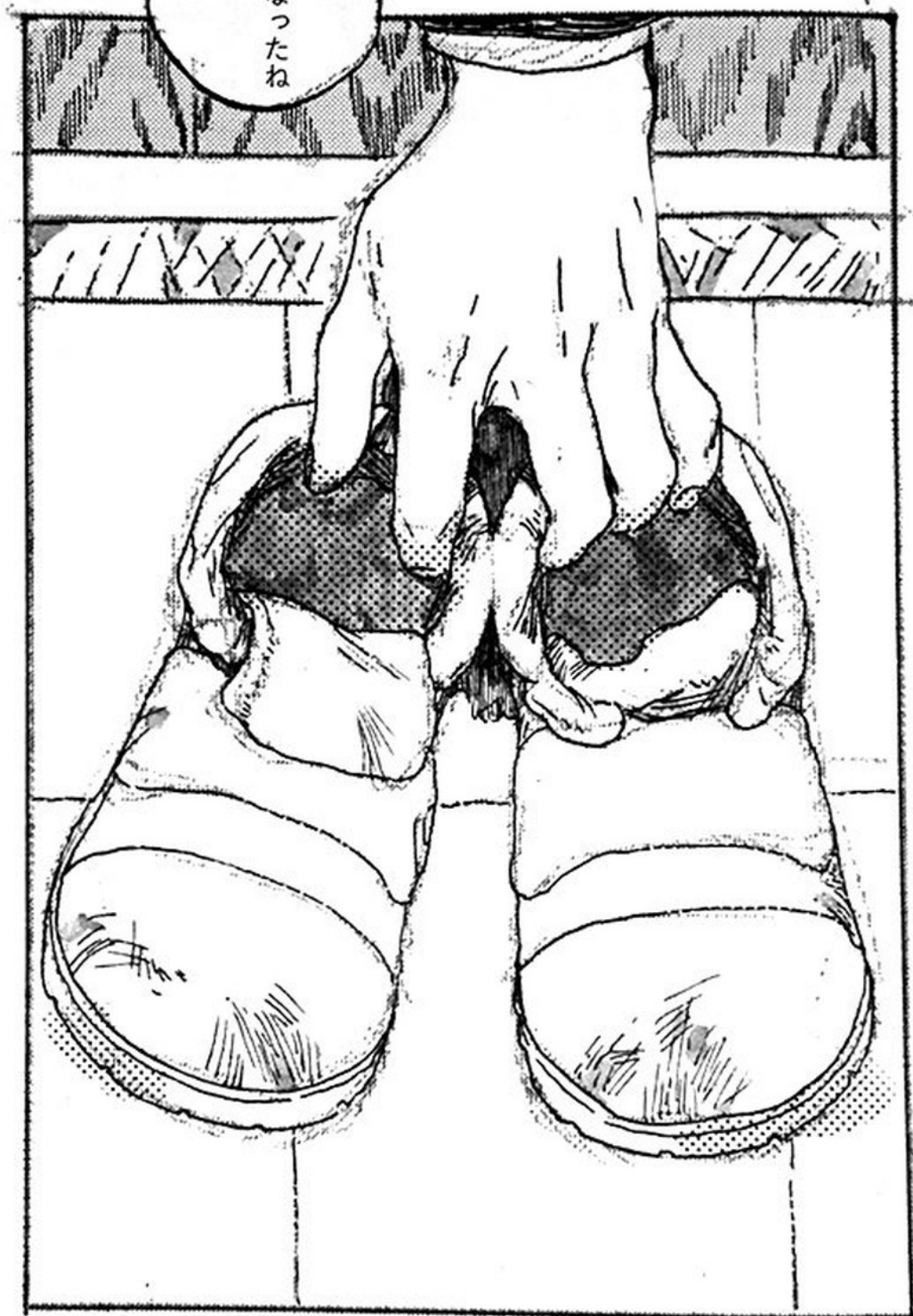


あ  
できねえ  
さえうまく  
歩くこと  
デクだな  
デクは本当に





大きくなったね  
出久は



行っ  
てき  
ます  
—



こう言った  
オールマイトは



全ての障害を突き破り  
ヒーローは



高い壁に勝ち  
自分の前に立

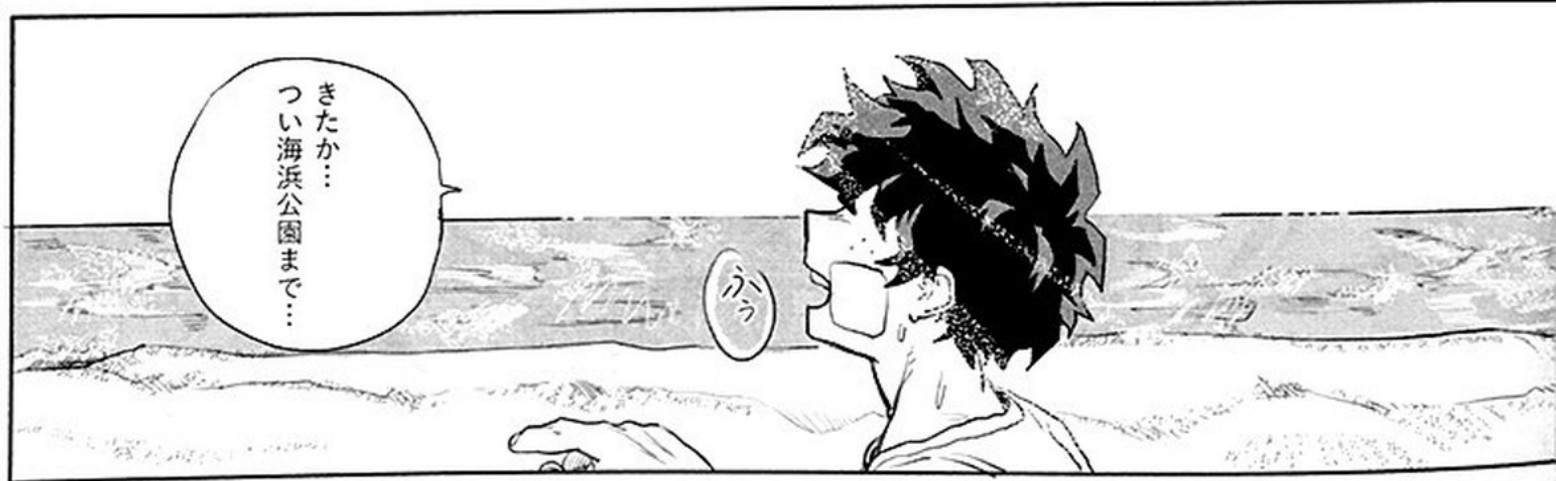
時間通りに  
ふう…

—  
終わった



きたか…  
つい海浜公園まで…

ふう



でも

ではない  
彼は僕の



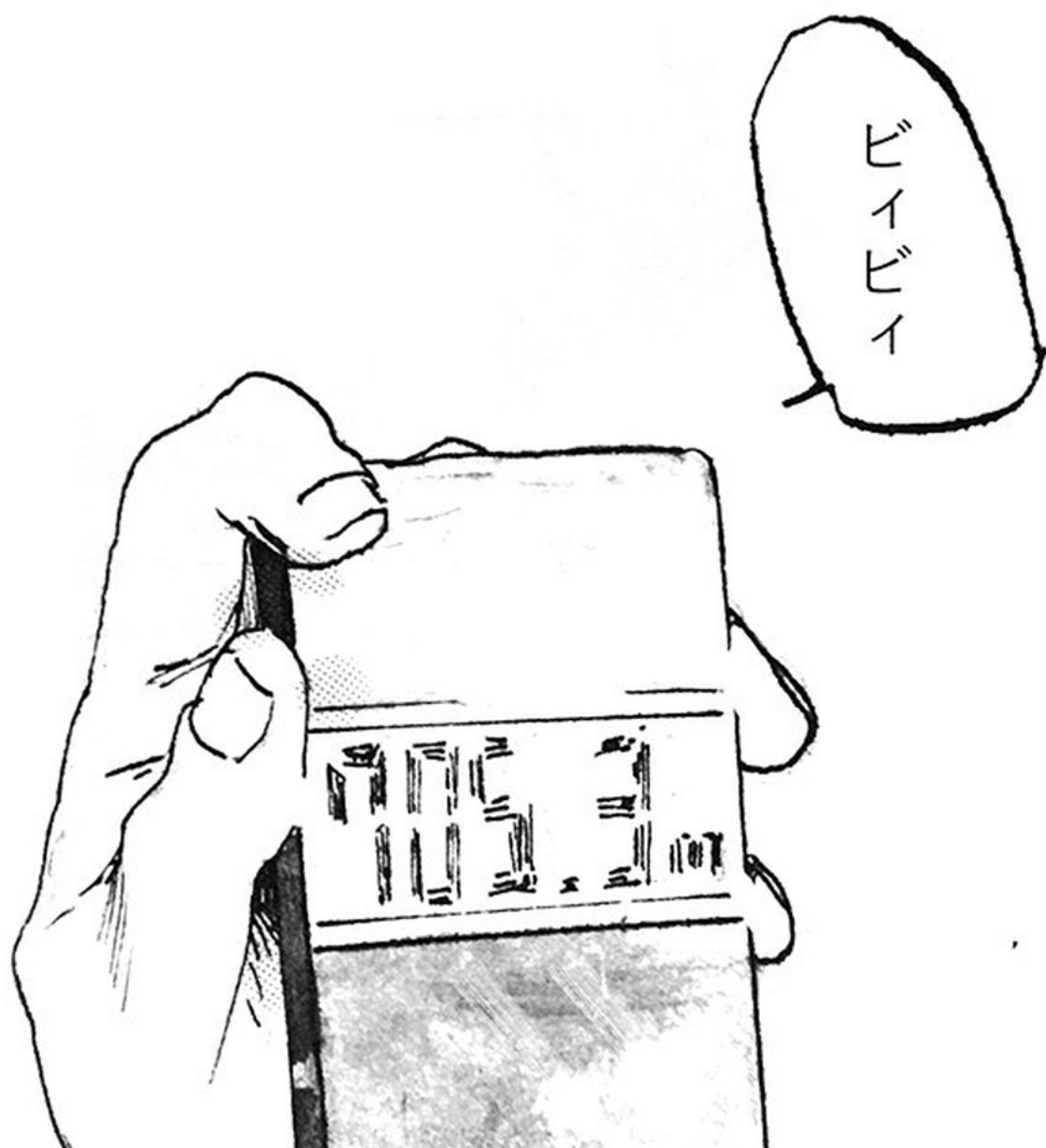
できんの？  
どれぐらい  
デクは、

かっちゃん  
すごいな

距離も長いよね  
跳ねる回数が多くて

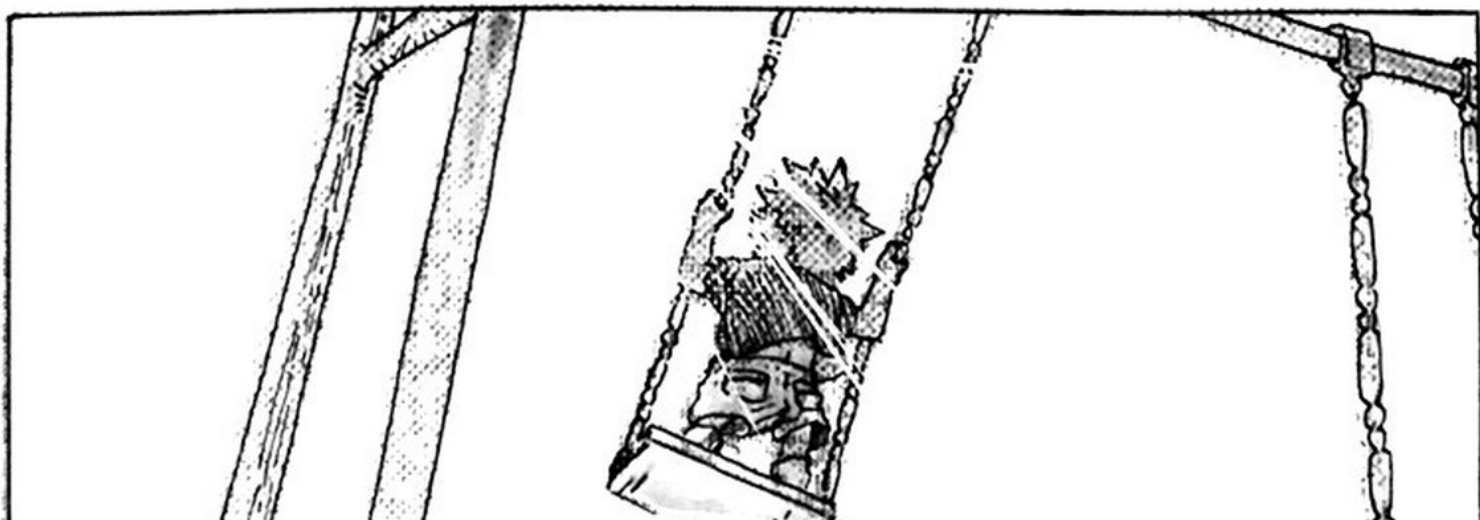
超棒えー

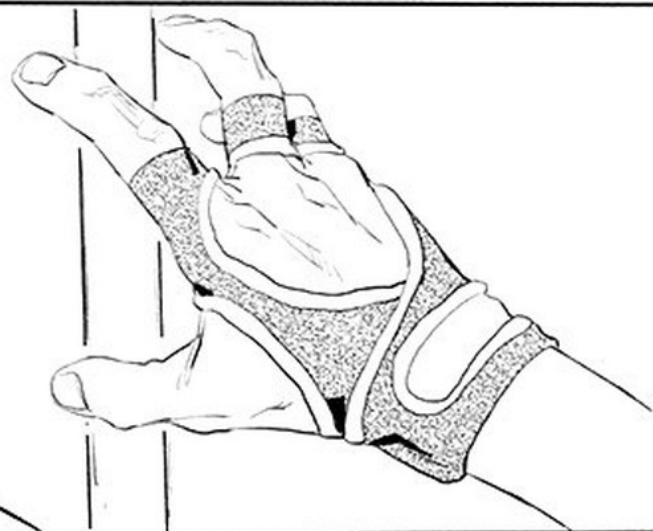


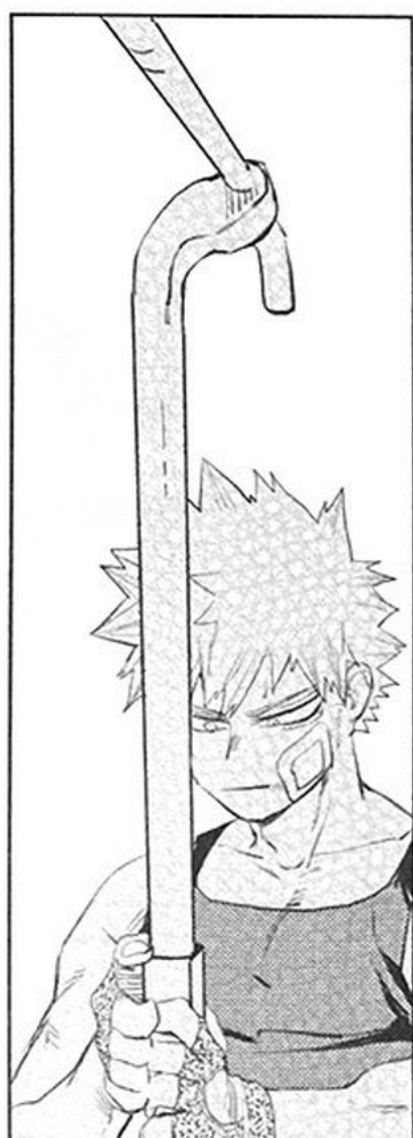
















してるよな  
いつもしかめっ面  
勝己はさあ…




でも

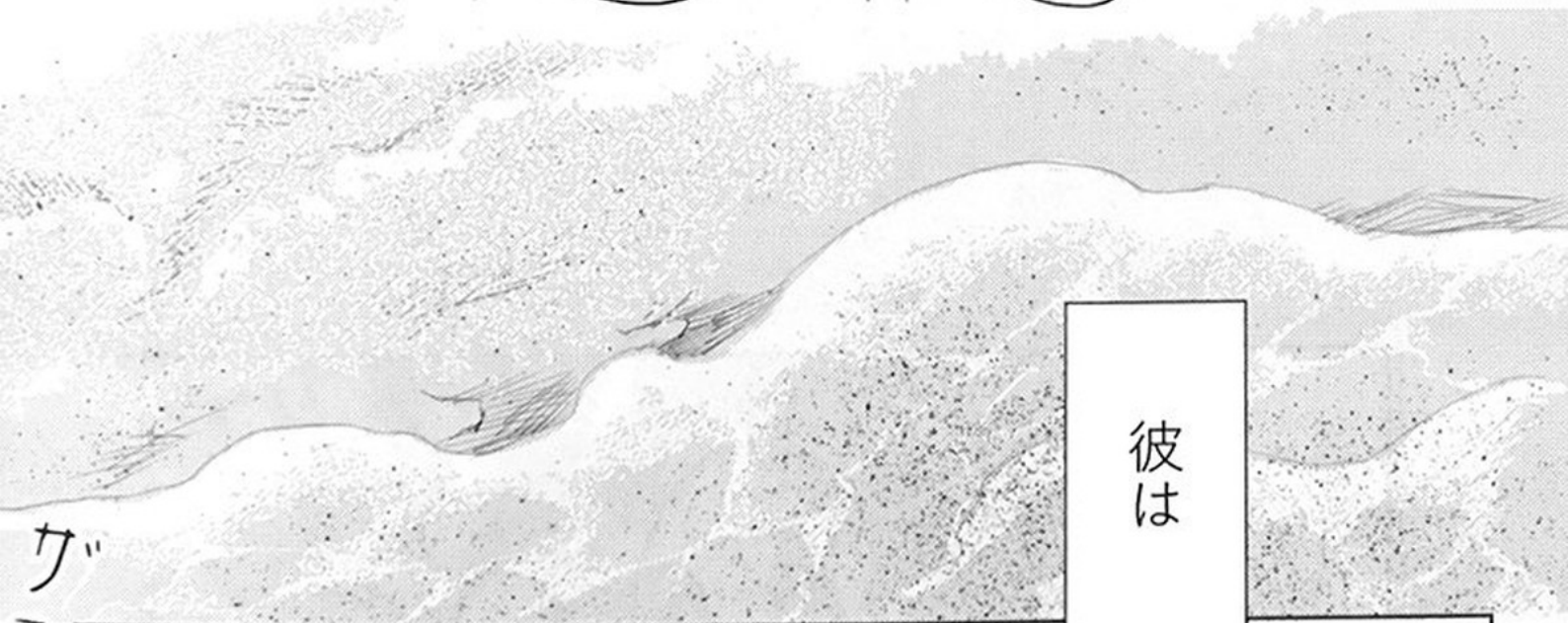


みただ…  
何かに悩まされてる

成長に欠せないもの  
悩みと憂いは  
僕も大体わかるさ、

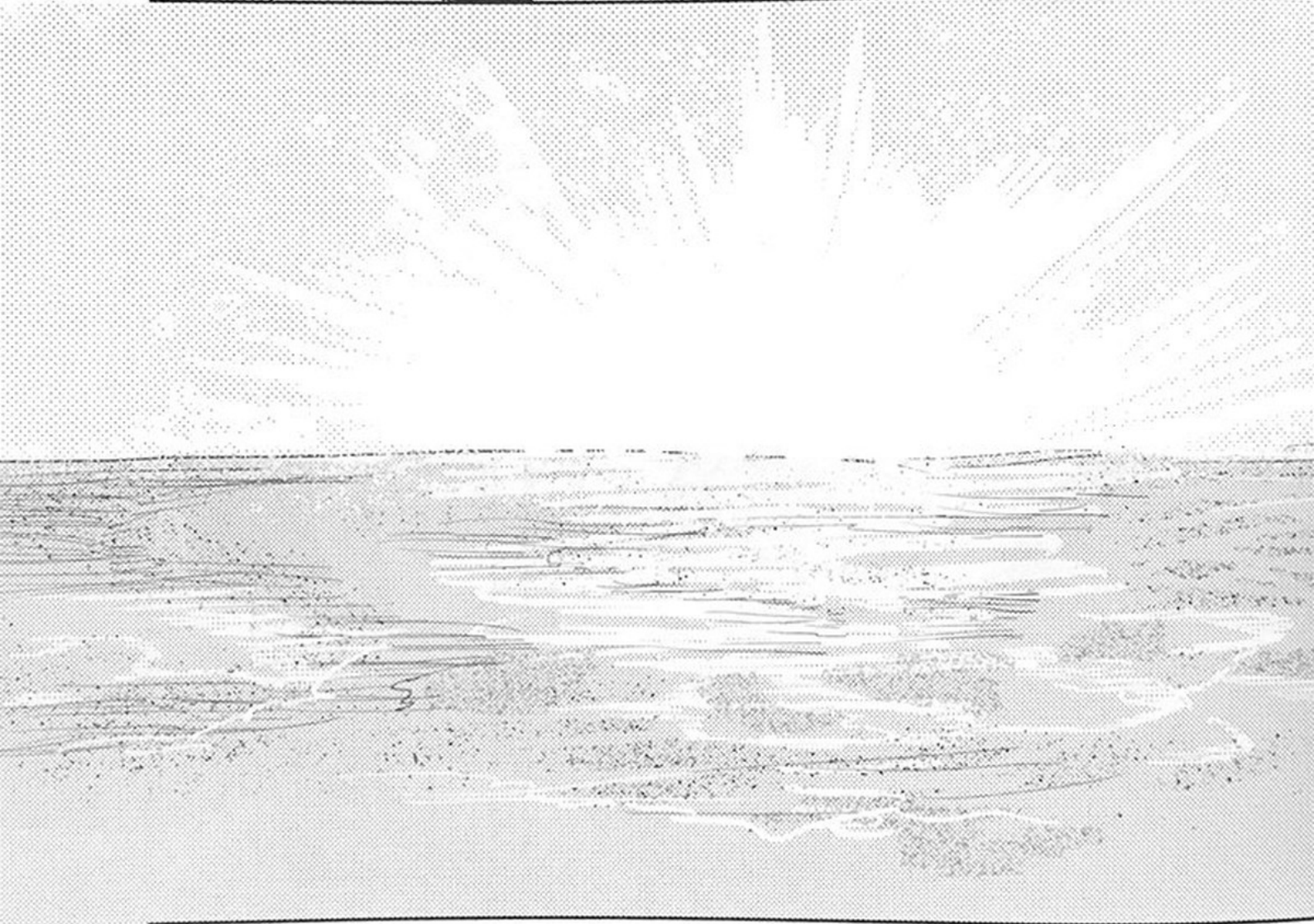


はずだろう  
わかった  
心の中の答えが  
きつともう  
勝己なら、



彼は

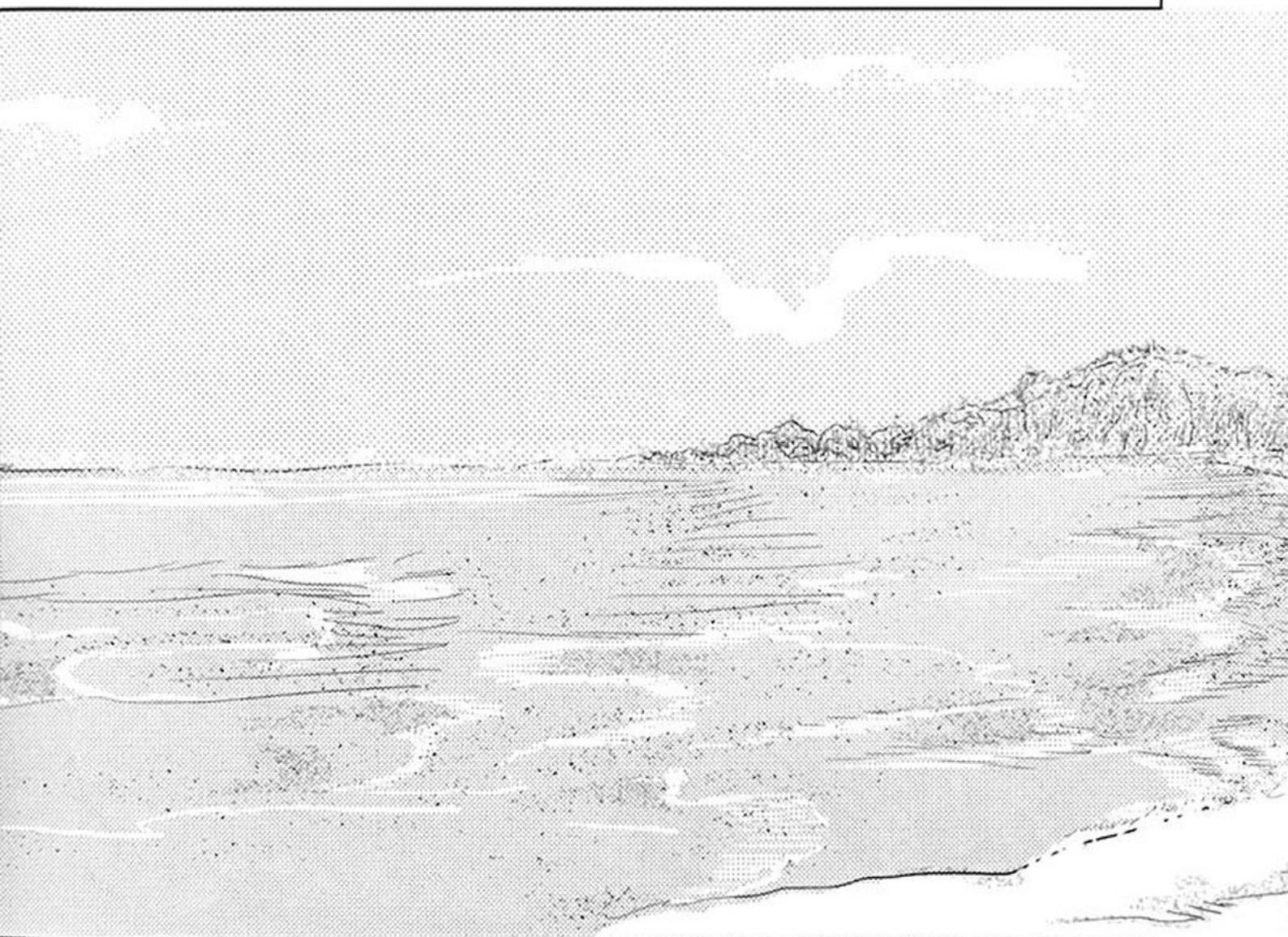
ガ



かけがえのない

勝己！

僕が駆け抜こうとする未来に



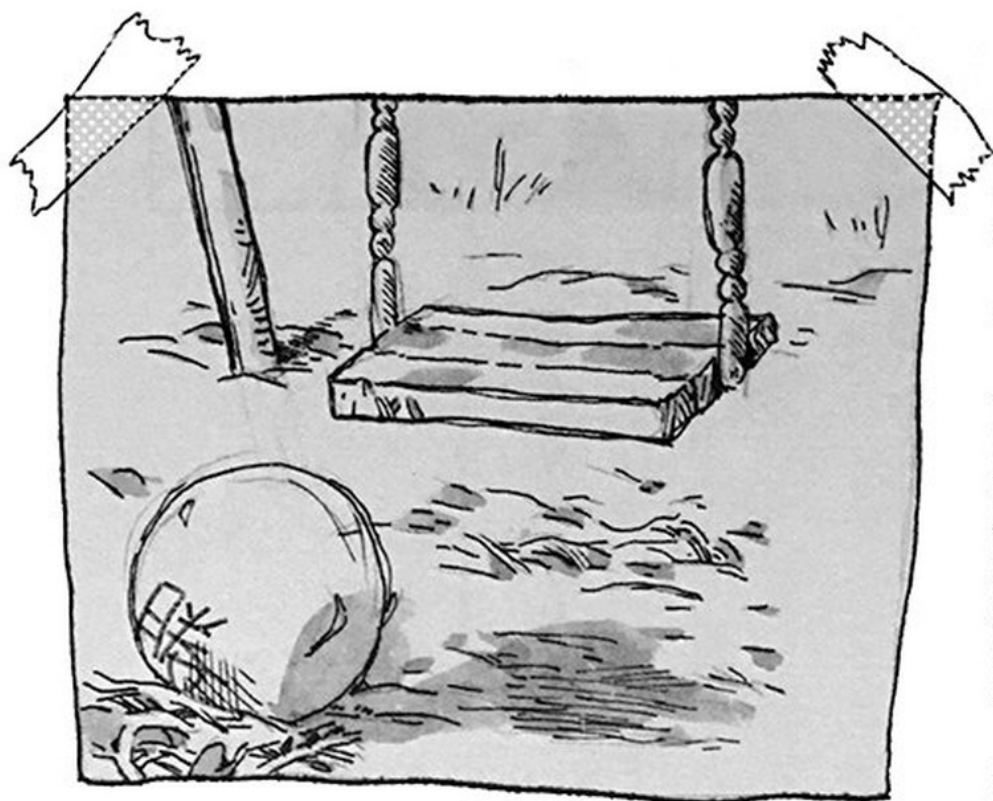


彼は僕の障害ではなく

彼は――

じゃねえか！  
そりや当たり前





ここまで読んでいただき、  
本当にありがとうございました！  
ぐずぐずしてやっと  
できました…

今回は二人の関係に対して  
自分なりの理解で原作の168話  
後の話を描いてみました。  
個人の妄想と私欲が  
溢れているばかりなので、  
原作とは全く別の話  
になってしまいました。  
本当に申し訳ありません！

二人の幼馴染としての関係  
はとても特別で、  
自分の筆力ではその十分の一さえ  
表現できませんでした。  
この本を読んでみたら  
十分わかると思いますが、  
このような微妙な関係に対して  
自分の思ったものをすべて  
確実になお明らかに表現するのは、  
自分にとってはすごく難しいことで  
本当にすみませんでしたOTZ

いつも心温かく手伝ってくれた  
格子さんには大変感謝  
しております。  
格子さんがいなければ一部の  
セリフも上手く書けませんでした。  
自分一人ではどうすればいいか  
本当にすごく困りましたOTZ

ご覧の方々が楽しんでくださ  
るなら幸いです。

紅薯 2018年夏

<https://weibo.com/u/2292442505>

栄光印刷



